

・三位一体後第十八主日

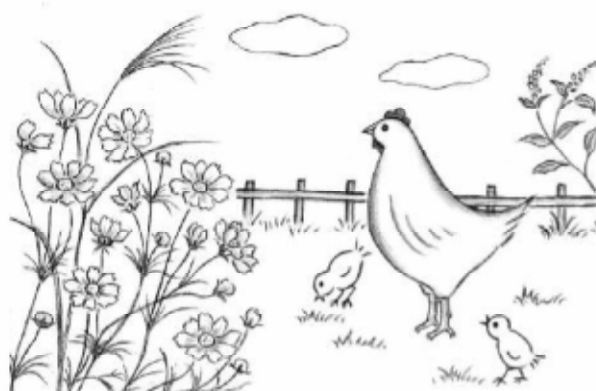
# 泉のほとり

今月の詩編「第十六編」

わたしは主をたたえます。

主はわたしの思いを励まし

わたしの心を夜ごと論してください。



## 信仰に踏みとどまる

教会で牧師が果たすべき務めは、家庭の主婦のそれと似ていると言った人があります。家庭に仕えることと、教会に仕えることと、共通点があるのです。でもその中で最も大切なことは、ここでパウロが言っている通り「御言葉をあなたがたに余すところなく伝えること」です。この務めによって教会に仕えるのが牧師です。

で、す教会が牧師に期待することはいろいろですが、その第一はみ言葉を余すところなく語り、御心を忠実に告白知らせることです。いつでもこれが第一であるべきで、それ以外のものを第一にしたらおかしいのです。

それが第一なのは、教会が特別な集団だからです。教会の隣のホテルと、もう三〇年近い付き合いですが「ホテルに来てみ言葉を語ってください」と依頼されたことは、一度もありません。ホテルはみ言葉を必要としなからず、これは教会が隔わりを持っている他のお店や銀行と同じです。

どうして教会は特別なのでしょう。パウロはこう言います、以前は神さまに敵対していたあなたがたが、主イエスの十字架によって罪を赦され、神さまの前で聖なる者、傷のない者、とがめられるところのない者としていただいた、と。それが、わたしたちが特別な理由です。

していただいたのですから、わたしたちは、神さまの前で、すでにそうなっているのです。神さまの目に

はそう見えている、ということ。たといわたしたちの目には、相変わらず汚れた者、傷だらけの者と見えていても、神さまの目には、聖なる者、傷のない者です。そして、自分の目に見える現実が不当なのではなく、神さまの目に見える現実こそが本当なのです。それを感謝して受け入れるのが信仰です。

だからパウロは「揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがた聞いた福音の希望から離れてはなりません」と言います。福音の希望は「聞いた」のであって、見たのではありません。これは大切です。

でも、例えばテサロニケの信徒への手紙一の最後には、神さまがわたしたちを聖なる者、欠けたところのない者、非のうちどころのない者としてくださるよう、という祈りが記されています。そこでは、まだわたしたちはそうなっていないようです。どちらが本当でしょうか。

実は、両方とも本当です。わたしたちは主イエスの十字架によって罪を赦され神さまの子供にいただきました。これは事実です。でもまだ、それにふさわしいあり方になっていません。ですからわたしたちは、自分がすでにになっている者に、これからなるのです。その原動力は、もうすでにそうなることを感謝して受け入れる信仰です。わたしたちに必要なものは、実行力や法断力ではなく、いつでも信仰です。だからパウロが、信仰に踏みとどまりなさい、というのです。

(コロサイ一・二・一二九)

## 約束をまもって楽しいバザーに

- ①バザー券は3才以上の方は1枚必要です。
- ②お店の開店前には品物を売りません。
- ③奉仕者は9時50分から買い物をしてください。
- ④お店に立つ人は名札をつけて下さい。
- ⑤当日だけ売場に立つことは出来ません。
- ⑥品物の予約はしていません。
- ⑦ポスターは各店5枚までです。
- ⑧当日の品物の値下げはいたしません。
- ⑨売り歩きはしない。

## 注意事項

- ①貴重品は必ず身につけましょう。
- ②後かたづけはみんなで協力してやりましょう。
- ③火事、盗難など不審なことは会場係か本部に連絡してください。
- ④グロリア・チャペルの施設・備品を汚したり傷つけたりしないよう、十分注意しましょう。

## 駐車場使用のお願い

次の期間、バザー準備の伴い駐車エリアが減少します。ご不自由おかけいたしますが、ご協力お願い致します。

### 記

九月三〇日(日)礼拝後、順次車両を移動してください。

十月一日(月)～九日(火)使用不可

十月十一日(木)以降は順次通常化

## 今日のお知らせ

- 今日も礼拝後、一斉にバザー準備に入ります。礼拝後、替えて、一時二〇分にホールにお集まりください。今日は、バザーの約束事項の確認をして、それから祈って、バザーの準備が始めます。
- ただ今日は午後遅くなると、台風の影響が出てくる恐れがあります。作業をきざよく進め、また食事や休憩時間を短くするなどの工夫をして、遅くとも午後三時ごろまでには作業を終えるようにしましょう。
- 本日、一階ロビーコート掛けにバザーのダンボールを置きますので荷物の移動をお願い致します。上段にある聖書、讃美歌等はそのままで大丈夫です。
- バザーの準備作業のために、この時期は地下の駐車スペースが少なくなります。特に次週七日と八日は、全く使えなくなりますので、近くのパーキングを御紹介します。事務所までお申し出ください。
- 一〇月一四日に、バザー感謝会を行います。皆さんご参加ください。愛餐会の参加者数を確認するために、特別に四百円のチケットを販売します。事務所でお求めください。
- 今年も説教塾のために、四五名の方が総額で二七方五千円を献げてくださいました。ありがとうございました。
- 紫園音楽伝道師は十月四日木曜日、玉川聖学院の特別授業(講演)で奉仕をします。お祈りください。

## ラバウル便り

和解放式

第二次世界大戦に於いて日本軍が東ニューブリテン州(含ラバウル)で犯した数々の罪に対しての和解放式が九月二十五日(土)ラバウルにあるオイスカ研修センターで催されました。

日本人クリスチャン二一名とアメリカ人クリスチャン一名が現地に赴かれました。数えてみると私個人として今までに小中学校、教会、地域集会で六回謝罪をしました。しかし、今回和解放式が州知事と州の役人、州の教会代表と教師と神父、一五〇〇〜一六〇〇名の神様の国の民と主のみ前で行われましたので、もう私の謝罪は不要になりました。二〇〇シニアボランティア一名と青年海外協力隊四名の参加は日本国政府を代表しての参加でしたのでとても感謝しています。この和解放式は日本側からの一方通行の謝罪でなく、現地の人達も日本軍人に対して犯した罪の謝罪そして和解放がありました。

残念ながら私はこの式典に参加できませんでしたが、それよりも今まで私が抱えていた「何故」に対しての答えを神様が教えて下さったことを感謝しました。「青年の時イエス様に出会えたこと」、「品川教会に導かれ教会生活を送ったこと」、「高校時代バレーボール部に入り体を鍛えた事」、「学生時代昼はバイトそして夜は学びの時期を過ごした事」、「NCCオイスカに参加して農業を途上国で学

べたこと」、「フイリピンで肝炎に罹り入院した事」、「バラオにオイスカの開発団員として約十年間派遣されたこと」、「一九九三年ラバウルに派遣され現地の女性と結婚した事」、「一九九四年ラバウルの火山の噴火の時自分が現地の人達と共にこの困難な時を過ごしたこと」、「子供が四人与えられた事」、「ラバウルに派遣されて二五年が経ったこの時、この和解放式の準備のため主が自分を下さったこと」等々等々、今振り返るとひとつひとつが主のみ心であった事が分かります感謝しています。

この和解放式の準備と和解放式参加者との一週間の日程を僅か三〇万円の予算で実施しなければならぬ状況、雨が降り続く最後の準備の時、人手が足りない等々、そう言う中にあつて「この和解放式は主の業、主から与えられたものを用いて全力を尽くす」事を確認し励まし合つて現地の神の民は頑張りました。九月十八日の献送会の中、私の妻ローラが第一コリント一五章五八節を日本語と英語で暗唱しました。現地の司会をされた牧師先生は涙を流され、多くの参加者が喜びで満たされた、と報告を受けました。今後ラバウルと日本の関係がいよいよ深まっていきます。どうぞ、品川教会もご準備下さい。厚いお祈りを有難う御座いました。

## 聖書の会へどうぞ

バザー準備のため、お休みです。

次回は、10月17日(水)です。

## ミニコンサート

10月25日(木) 12時30分より

ヴァイオリン独奏 中川あんな

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ1番

「アダージョ」他

## 次週礼拝

●一回礼拝(午前10時00分)

讃美歌 讃21363番 やさしい目が

説教 一人間に従うよりも神に従う

聖書 使徒5章27、42節

説教者 黄允湜 副牧師





## 一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 301番

讃21 361番

説教 「成熟を目指して進もう」

聖書 ヘブライ6章1～12節(新約P406)

司式 森洋之見

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「あまつみ使いよイエスの御名を」 J.ブレイト

### ○ 讃美歌 301番

1. 山べにむかいてわれ 目をあぐ  
助けはいずかたより きたるか  
あめつちのみかみより たすけぞわれにきたる
2. み神はなれの足を つよくす  
み守りあればなれは うごかじ  
みたみをば守るもの まどろみねむりまさじ
3. み神はあだをふせぐ たてなり  
ながみをつねに守る かげなり  
よるは月、ひるは日も なれをばそこなうまじ
4. み神はわざわいをも さけしめ  
疲れしたましいをも やすます  
いずるおり、いるおりも  
たえせずなれを守らん アーメン

### ○ オルガンによる讃美

「わか魂、怖れを去れ！」(フィンランド民謡) D.ワグ

### ○ 聖歌隊による讃美

「われ山に向かい」 W.スティーブス

われ山に向かい目をあぐ

わが助けはいずこより来たる

わが助けはあめつちの 主より来たる

主は汝の足を守り 主はまどろみ給うことなし

見よ イスラエルを守るものは

ねむり給うことなし

主は汝をまもり その右手をおおうかげなり

昼は日 汝を打たず 夜は月 汝を打たじ

主はわざわいより守り

主は今より永遠に至るまで

汝のいずると入るとを 守らせ給う

われ山に向かい目をあぐ

わが助けは御神より来たる

### ○ 讃21 361番

1. この世はみな 神のせかい  
あめつちすべてが 歌いかわす  
岩も木々も 空も海も  
み神のみわざを ほめたたえる
2. この世はみな 神のせかい  
鳥の音 花の香 主をたたえる  
朝日 夕日 空に映えて  
み神のみわざを 語り告げる
3. この世はみな 神のせかい  
悪魔の力が 世に満ちても  
わが心に 迷いはなし  
主こそがこの世を治められる アーメン

聖餐曲 「アダージョ」 G.グランド

後奏曲 「パッハの名によるフーガ」 R.シューマン

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ち下さい。